

ごのへ議会だより

Gonohe Assembly News

第23回定例会 (平成26年6月定例会)

議案等の審議	2	五戸町議会合併後10年のあゆみ	9
第22回臨時会	3	議員活動報告	10
第24回臨時会	4	編集後記	10
一般質問(4人)	5		

議会広報
平成26年8月
第12号



ビックリ夜店 町村合併10周年記念 盆踊り大会



平成26年7月25日から27日の3日間、毎年恒例のビックリ夜店が行われました。今年も、町村合併10周年記念の盆踊り大会が行われ、多くの参加者がイベントを盛り上げました。

第23回 平成26年6月 定例会

6月定例会は、6月12日から17日までの6日間の会期で開催しました。

4人の議員が一般質問を行ったほか、議会からの案件1件と町長から補正予算、条例の一部改正、人事案件の計3件と報告2件が提出されました。

また、請願1件と陳情2件が総務常任委員会に付託されました。

町長提出案件

条例の一部改正 1件

●五戸町児童クラブ館設置条例の一部改正

・五戸児童クラブ館（な
かよしクラブのため
の建物）を追加。

審議の結果

全員賛成で可決

補正予算 1件

●一般会計補正予算（第1号）

- ・予算総額（補正後）
89億2954万3千円
- ・補正額（増額）
2億1600万3千円
- 主な増額
 - ・保育所緊急整備事業費補助金
1億189万円
 - ・被災農業者経営体育成支援事業助成金
8210万円

質疑

質 若宮議員

一般会計補正予算のワークシヨップメンバー謝礼の説明をお願いする。

答 新井田企画振興課長

現在、五戸町総合振興計画を作成中であり、できるだけ多くの意見を反映させたい。そこで、ワークシヨップを行うため、福祉健康部会・教育文化部会・産業部会・生活環境部会の4つの部会を設け、各分野に精通した方々から各部会に7人の委員を予定している。この委員（ワークシヨップメンバー）に対する謝礼。
7月と8月に計3回の会議（ワークシヨップ）を予定している。

質 若宮議員

五戸町総合振興計画の進行状況と今後の予定は。

答 新井田企画振興課長

昨年実施したアンケート結果を基にワークシヨップで意見を出してもらおう。

審議の結果

全員賛成で可決

ワークシヨップ終了後、素案を取りまとめ、10月頃には各地区で説明会を開催予定。

ワークシヨップとは

グループでの参加者全員による共同作業。
近年は企業研修や住民参加型まちづくりにおける合意形成の手法としてよく用いられている。

報告 2件

●一般会計繰越明許費繰越計算書

- ・地域ケーブルテレビネットワーク整備事業
1131万5千円
- ・五戸児童クラブ館整備事業
5188万8千円
- ・子ども・子育て支援事業計画策定事業
1080万円
- ・ひばり野公園陸上競技場管理棟整備事業
260万円
- ・町営住宅ひばり野団地建設事業
1512万円
- ・防災行政無線整備事業
3億8287万3千円
- ・農地・農業用施設災害復旧事業
2022万9千円
- ・道路災害復旧事業
377万4千円
- ・道路補助災害復旧事業
1500万円

●介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書

・介護基盤緊急整備等特別対策事業
1億1600万円

報告に審議はありません

繰越明許費とは

歳出予算の一部で、その性質上又は予算成立後のなんらかの理由により、年度内に支出を完了することのできない見込みのあるものについては、予算で定めることにより、翌年度に繰り越して使用することができるとのこと。

繰越計算書とは

実際の繰越額や繰越財源を明らかにした繰越計算書を作成し、議会に報告するもの。

議案等の審議

人事 1件

●教育委員会委員の任命

◎高橋 正之 氏
たかはし まさゆき

(72歳)



八戸市大字糠塚字大開

主な職歴

教育関係勤務

三戸町立大舌中学校長

田子町立田子中学校長

三八教育事務所

教育課長

五戸町立五戸中学校長

五戸町教育委員会

教育長(3期)

審議の結果

全員賛成で同意

請願 1件

●外灯改修工事に関する

請願書

・総務常任委員会へ付託

●常任委員会の審査結果

継続審査

陳情 2件

●垂直離着陸機MV22

オスプレイの配備撤回、

低空飛行禁止を求める

陳情書

●最低賃金の大幅引き上

げと中小零細企業支援

の拡充を求める陳情書

・総務常任委員会へ付託

●常任委員会の審査結果

継続審査

第22回臨時会

平成26年5月8日に臨

時会を開催しました。

町長からの案件として、

専決処分の承認11件と工

事請負契約の締結2件が

提出されました。

町長提出案件

専決処分の承認 11件

条例の一部改正 5件

●五戸町町税条例の一部

改正

●五戸町国民健康保険税

条例の一部改正

・地方税法の一部改正に

伴う改正

●五戸町簡易水道事業等

給水条例の一部を改正

する条例の一部改正

●五戸町農業集落排水処

理施設の設置及び管理

に関する条例の一部を

改正する条例の一部改

正

・消費税率の改定に伴う

条例の一部改正を第19

回定例会(平成25年12

月)で可決し、公布さ

れていたが、一部改正

の条例をさらに一部改

正する必要が生じたも

の。

●五戸町承認企業立地計

画に従って設置される

施設に係る固定資産税

の特別措置に関する条

例の一部改正

・基本計画の同意の期限

を2年間延長。

●補正予算 6件

●平成25年度一般会計補

正予算(第6号)

・予算総額

108億1271万1千円

・補正額(減額)

1億987万2千円

●歳入

主な増額

・国庫支出金

1億6257万円

・地方交付税

1億2221万円

主な減額

・町債

4億4160万円

・県支出金

2430万円

・繰入金

2324万円

●歳出

主な増額

・病院事業会計負担金

2億600万円

・財政調整基金積立金

7764万円

主な減額

・五戸小学校改築工事費

1億9850万円

・障がい者自立支援給付

費 4600万円

・病院事業会計健診業務

負担金

1647万円

・予算総額

23億3703万4千円

・補正額(増額)

32万5千円

●平成25年度後期高齢者

医療特別会計補正予算

(第3号)

主な増額

・予算総額

4億429万円

・補正額(減額)

2342万2千円

主な減額

・後期高齢者医療広域連

合負担金 1530万円

●平成25年度国民健康

保険特別会計補正予算

(第4号)

主な増額

・予算総額

25億7548万8千円

・補正額(減額)

6546万2千円

主な減額

・一般被保険者療養給付

費 3026万円

・退職被保険者等療養給

付費 2263万円

●平成25年度介護保険特

別会計補正予算(第4

号)

主な増額

・予算総額

4億5216万円

・補正額

32万5千円

・介護保険事業費補助金

32万5千円

●平成25年度下水道事業

特別会計補正予算(第

4号)

主な増額

・予算総額

4億5216万円

・補正額

32万5千円

主な減額

・後期高齢者医療広域連

合負担金 1530万円

議案等の審議

・補正額(減額) 843万6千円

主な減額

・公共下水道建設費

843万6千円

●平成25年度病院事業会計補正予算(第3号)

○収益的収入

30億1734万9千円

○収益的支出

28億5568万5千円

主な内容

・特別利益他会計繰入金

2億600万円増額

・健診センター医業収益

他会計負担金

1647万円減額

○資本的収入

2億136万9千円

○資本的支出

3億548万2千円

審議の結果

全員賛成で承認

工事請負契約の締結 2件

●防災行政無線移動システムデジタル化整備工事

契約相手方

沖電気工業(株)東北支社

契約額(税込)

3億4986万6千円

●五戸小学校外構工事

契約相手方

(株)沢田建設

契約額(税込)

8780万4千円

審議の結果

全員賛成で可決

第24回臨時会

平成26年7月14日に臨時会を開催しました。

議会からの案件1件、

町長からの案件として、

財産の取得2件が提出されました。

町長提出案件

財産の取得 2件

●凍結防止剤散布車

契約相手方

株式会社青工

八戸支店

契約額(税込)

1663万2千円

●消防ポンプ自動車(CD-I)

契約相手方

株式会社八戸鉄工所

契約額(税込)

1987万2千円

・倉石1分団へ配置

議会提出案件

●五戸町農業委員の推薦

◎大沢 トモ子 氏 (59歳)



五戸町字正場沢

◎豊川 敏雄 氏 (67歳)



五戸町大字切谷内字佐野

◎北村 勉 氏 (66歳)



五戸町大字浅水字北向

◎森田 英里子 氏 (43歳)



五戸町大字倉石又重字森田

議会は、農業委員会等に関する法律第12条第2号「当該市町村の議会が推薦した農業委員会の所掌に属する事項につき学識経験を有する者四人以内」に基づいて委員を推薦します。町長は、議会で推薦された人を委員として選任しなければなりません。

今回、青森県農業会議会長と全国農業会議所会長の連名で、女性委員の選出についてのお願があり、五戸町議会では2人の女性委員を推薦しました。委員の任期は3年です。

一般質問



尾形 裕之 議員

五戸総合病院の改善策は

町長 地域包括ケア病床を計画している

某病院の地域連携診療計画書(入院診療計画書)の一部。

『治療の流れ』

手術 → リハビリ → 転院 → リハビリ → 退院

*手術後に特別な合併症が無ければ2週間後で転院となります。
転院後は退院に向けてより専門的なリハビリを継続していきます。

連携病院(リハビリ病院) ※希望する病院を3つ選んでください。
希望する順番に1, 2, 3と数字を書いてください。

<p><八戸市内></p> <ul style="list-style-type: none"> () 岸原病院 ~ 柏崎地区 ~ () 八戸西病院 ~ 長苗代地区 ~ () 八戸城北病院 ~ 下長地区 ~ () みちのく記念病院 ~ 小中野地区 ~ () 美保野病院 ~ 白根地区 ~ () 室岡整形外科病院 ~ 長者地区 ~ 	<p><八戸市外></p> <ul style="list-style-type: none"> おいらせ病院() 三戸中央病院() 南部病院()
--	---

◆1番目に希望した病院のベッドが満床の時は、2番目、3番目に希望した病院に転院します。

連携病院(リハビリ病院)として五戸総合病院が載っていない。

質問
本年度、町は五戸総合病院の改善をどう進めるのか。

また、八戸3病院(八戸市立市民病院・八戸赤十字病院・青森労災病院)との連携は。

二浦町長答弁

地域包括ケア病床設置を目標に、検討委員会を設け、本年度11月までに国より認可を取るために努力している。本年度中であれば改装にも費用が

かからず、より地域に密着した医療が提供できる。また、4月より地域医療連携室をオープンした。他団体とも連携をよりとっていけるはずである。

質問

努力には大変敬意を払うが、八戸3病院のある病院の連携リストには五戸総合病院が載っていない。載せていただくよう努力すべきである。

将来の遺骨の管理は

町長 必要とあれば 検討

質問

日本全体では自分の墓が将来無縁仏になると心配している方が50%以上いるそうだ。また、経済的に墓にお金をかけたくない方も多いそうだが、町ではどうなっているのか。

廃校舎を利用して遺骨管理を町のみならず、全国に発信してみようか。また、ペットの墓も時代のニーズではないか。

二浦町長答弁

町の調査はしておりませんが、将来的に必要とあれば、検討します。

廃校舎の備品の活用方法は

教育長 教育委員会で 保管

質問

廃校舎の備品は、今どうなっているのか。また、今後どうする予定か。

高橋教育長答弁

備品はすべて教育委員会が管理している。9月までに小学校、役場で必要なものを取り、11月までに他の公共団体に申込期間を設け、払い下げる。残りは、3月までに売却する。

観光事業に 町民の声を

町長 課の増設は無理

質問

観光事業は観光協会中心に進めています。町民の声を活かすために町に商工観光課を設置しては。

二浦町長答弁

行財政改革で課を減少させたので、時代に逆行する課の増設は無理である。

質問

町民は、町民をリードしていく課が欲しいと言っている。町民の期待と町の考え方とはちょっと違いくる。

課の設置は無理でも、町民に役立つ役場になるべきだ。

特別養護老人ホームの入所待機者を解消すべき



柏田 雅俊 議員

町長 第6期介護保険事業計画で検討する

質問

特養待機者が16人も残る状況は、深刻かつ切実な問題であり、行政の責任において1日も早く解消すべく対策を強く望むものであるが、「地域医療・介護総合確保推進法」案は待機者解消につながるものなのか。

また、第6期介護保険事業計画にどのように反映されるのか。

二浦町長答弁

この改正案は、特養の新規入所要件を原則要介護3以上に厳格化し、施設機能の重点化を図りながら在宅での介護予防支援強化を図り、施設入所待機者の減少につなげたいというのが国の政策方向である。

ただし、改正案は施設整備を制限するものでないので、受益と負担の均衡を図りながら待機者解消については、第6期計画に反映すべきかどうか現状を考慮し、検討したい。

質問

なお、第6期計画は団塊世代が高齢者入りする2015年から2025年までの中長期的なサービス、給付、保険料の水準等を推計し、段階的に充実・強化をスタートさせる計画として今後の待機者解消に努めていく。

五戸町では、高齢者福祉計画と介護保険事業計画を一体化した計画として策定しています。

第6期計画は、五戸町介護保険事業計画等策定委員会で検討中です。

委員の構成

保健医療関係者	1人
福祉関係者	2人
町内施設代表者	1人
学識経験者	5人
住民代表として	
第1号被保険者	2人
(65歳以上)	
第2号被保険者	2人
(40～64歳)	

質問

第5期の介護保険料の基準額は全国の1号被保険者と2号被保険者の人口比率に基づき21%対29%で算出されていたが、高齢化が進んでいる状況で次期基準額の算出方法に変更はあるのか。

二浦町長答弁

第5期と同じく日常生活圏ニーズ調査の結果や各種介護サービスの利用割合及び給付実績、要介護認定者率、介護給付費などからの検証分析を行い、その結果を国で示すワークシートにより算出するが、第6期の基準額については現在検証分析中であり、基準額の提示は12月頃になる。

水道水の濁りの原因と情報提供は

町長 速やかな情報提供と

濁りの早期解消に努める

質問

4月29日と6月2日の火災時に消火栓使用後水道水が濁り、地域住民から苦情があったが、その原因と状況について住民に情報提供があったのか。また、今後の対応策は。

二浦町長答弁

原因は、消火栓を使用したことにより水道管内の水圧や水流の変化により、長年付着していた塩素との反応による酸化物が水と一緒に出て、濁りが発生したのと思われ

ます。情報については、本管の濁りが無くなったことを確認したのが遅い時間だったため、防災無線での広報は行いませんでした。



濁りの原因となった消火栓

一般質問



根森 隆雄 議員

コミュニティバスの利用状況は

町長 当初計画以上の利用状況となった

質問

コミュニティバスについて、町民の声は大変好評であると聞いており、非常に喜ばしいことだと思ふ。ただ、大切な税金を使つての事業であり、費用対効果、走行ルート・バス停の位置等の利便性、安全対策等について、常に検討していかなければならないと思ふ。

二浦町長答弁

①平成25年度では1か月当たり3000人、年間36000人と輸送人員を見込んでいた。実績は、1カ月平均3395人、年間40743人で、当初計画以上の利用状況となった。さらに、平成26年4月は3473人、5月は3

680人と昨年度を上回っている。

②昨年、広報ごのへまち9月号で一般の方々から広く意見を頂戴し、10月15日には、自治会長さん方を対象に意見交換会を行い、交通の安全確保や利用者の利便性向上につなげ、26年度のダイヤ改正に反映した。

③確かに利用者の少ない系統路線はあるが、生活交通の確保の観点、また、地域活性化の観点からも路線の確保・維持は非常に重要であると思ふ。今後の対応は、運行を始めてから、まだ1年と2カ月なので、まずは住民の要望を十分にコミュニティバス運行に反映させることが大切と捉えており、しばらくは利用者の動向を見守る必要があるのではないかと考へる。



利用者数も順調なコミュニティバス

薬用作物と山椒の栽培を

町長 職員を研修会に派遣し

今後検討する

質問

薬用作物等について、昨年9月定例会の一般質問に対し、農林課長から「来年度から五戸町でも本格的に対応してまいりたい。」という回答があったが、具体的にどのようなことを計画しているのか。

栽培技術の確立、機械化の促進、産地としての出荷体制の整備等が課題になると思つており、東北農政局主催のブロック会議に職員を派遣し、国及び日本漢方生薬製剤協会の支援策等について研修の上、今後について検討する必要があると思ふ。

また、山椒さんしやうについて、日本のスパイスとして山椒が海外で注目されだしたと聞く。我が家の山椒も毎年ぎっしりと実を付けており、五戸町でも産地化は十分可能と思ふが、将来性についてどのような考へるか。

二浦町長答弁

薬用作物の産地形成に向けては、地域に合った

山椒の将来性については、漢方薬及び食品メーカーが必要の状況を鑑みて判断すべきものであると思つているが、日本漢方生薬製剤協会加盟会社が日本国内で生産拡大を図りたいと考へている品目の一つであり、それらから思ふには、将来性があるのではと考へる。



高山 浩司 議員

町主体の物産施設の実現は

町長 既存のレストラン等を
活用する体制を検討する

質問

平成20年9月の定例会で、鳥谷部前議員が、倉石牛、馬肉、シャモロツク等を含む五戸名物を提供する場所の必要性を訴えたが、町が主体となつての事業実現には、かなり難しいものがあるというものだった。その考えは現在も変わらないのか。

二浦町長答弁

数回の意見交換会を開催したが、意見を集約すると、事業は時期尚早という結果に至った経緯がある。

現時点においても、財政状況、施設建設場所、採算性などを総合的に考慮すると、町単独ではできない事業であり、継続課題として検討していきたい。

質問

施設の建設費の見積もりはとっていたのか。

新井田企画振興課長答弁

駐車場等を含めて約3億6千万円。

質問

新たに施設を作るのではなく、町内で倉石牛を扱いたいレストランや店が倉石牛を仕入れる時に町が補助金を出して倉石牛を仕入れやすくし、産地である五戸町に行けばいつでも倉石牛を食べられるという体制を作ることが重要ではないか。

三浦町長答弁

補助金という形は難しいかもしれないが、高山議員と同じような考えを持っていて、そのような体制は必要だと考えているので検討していきたい。

小学校統合後の

ALTの活用状況は

教育長 8月からは2人体制
町長 来年度以降は検討する

質問

今年4月に4つの小学校が統合になって、現在五戸町は4小学校と3中学校となったわけだが、ALTの活用はどのようになっているのか。

高橋教育長答弁

現在3人体制であるが、8月に2名のALTが帰国し、新たに1名のALTが来町するので、8月以降は2人体制で行う予定になっている。

2人体制になっても、現在行っている学校教育、社会教育、幼児教育については、これまでどおり支障なく実施できると考えている。

質問

3月の定例会では、ALT3人分の予算を計上していたはずだが、この予算はどうなるのか。

畑山教育課長答弁

補正予算で減額する予定である。



ALTによる夏休み英会話スクール

質問

「五戸町・倉石村合併まちづくり計画」では、英語教育の向上に重点的に取り組むとあり、また「教育の町 五戸」と言うのであれば、ALTの3人体制を維持し、もっと児童・生徒が英語に触れる機会を増やすべきではないか。

三浦町長答弁

高山議員に近い考えを持っている。

8月からのALTの2人体制は変えられないが、来年度増やす方向で検討したい。

ALTとは

外国語指導助手

Assistant Language

Teacherの略で、主に学校又は教育委員会に配属されます。

日本人外国語担当教員の助手として外国語授業に携わり、また、教育教材の準備や英語研究会のような課外活動などに従事します。

五戸町議会合併後10年のあゆみ 10年で議員数10人の削減

平成16年7月1日(町村合併)から議員数28人

旧五戸町議員18人と旧倉石村議員10人で新五戸町議会がスタート

平成20年2月29日から議員数22人

平成23年3月

活性化検討委員会を設置(議長の諮問機関)

活性化検討委員会で協議された結果を議会全体(議員全員協議会等)で話し合い、合意を得られたものから議会として実施

ここから議会の活性化が本格的にスタート

平成23年9月

ごのへ議会だより編集委員会を設置(特別委員会)

議会広報「ごのへ議会だより」を発行するため

予算・決算特別委員会を議場で行い、一般公開することを決定

平成23年9月の決算特別委員会から実施

今回で12号となりました

平成23年11月

議会広報「ごのへ議会だより」(創刊号)を発行

平成23年12月

広報常任委員会を設置

ごのへ議会だより編集委員会(特別委員会)を廃止し、常任委員会とする

平成24年2月29日から議員数18人

平成24年9月

一般質問を五戸ちゃんねる(五戸町ケーブルテレビ)で放送

ボランティアスタッフによる撮影・編集

平成24年11月

議会報告会を開催

今年も実施する予定です
たくさんの参加、ご意見をお待ちしています

平成25年9月

議場システムを購入

音響設備を更新、映像設備を追加し、議会事務局職員で一般質問など議会の様子を撮影できることとなる

一般質問において、一問一答方式と一括方式の選択制を導入

平成25年9月定例会から

五戸総合病院検討委員会を設置(任意の委員会)

五戸総合病院の今後の方向性等に関して調査、検討し、必要な提言を行う

導入後の皆様のご意見をお聞かせください

議員活動報告

第4回定住自立圏の形成に関する勉強会

平成26年7月17日、階上町において八戸圏域定住自立圏形成促進議員連盟及び八戸市主催による勉強会と交流会が開催され、五戸町議会議員は10人が参加しました。

8月10日からジェラートの製造販売を行うため、現在は建物を改修中。

③階上岳・町営放牧場

視察会
①階上町わっせ交流センター
・平成22年3月に閉校した旧登切小学校を改修し、平成24年4月に「階上早生そば」の振興拠点と地域活性化施設としてオープン。



②フォレストピア階上
・階上岳の登山口にあり、四季を通じて地元の農産物や特産品などを展示販売。



講演会
圏域の畜産振興について
青森県南畜産振興協議会

会長 青野正宣 氏

八戸圏域8市町村の定住自立圏形成事業の推進と意見交換等による相互理解を深めることで、圏域の振興・発展に役立てるため、平成25年度から各市町村持ち回りで開催しており、今回が第4回となります。

県下町村議会議員研修会

平成26年7月10日、青森市にて県下町村議会議員研修会が開催され、五戸町議会議員は11人が参加しました。

道州制について
東京大学名誉教授

大森 彌 氏



編集後記

日本人の生活習慣の変化により、糖尿病等の有病者・予備群が増加しており、その原因とする死亡は全体の3分の1にも上ります。

国では平成20年4月から特定健康診査(メタボリックシンドロームに着目した健診)を始めました。

当町では、その特定健康診査の受診率が平成20年度は14・8%、5年後の平成24年度には16・3%と青森県内で最下位の数字になっています。

平均寿命が男女とも全国最下位の青森県。特定健康診査受診率が青森県下最下位の五戸町。

当町では5年後の平成29年度には受診率60%を目標に見据え、今年度から無料化や休日健診も始めました。少子化が進み人口減少社会に突入した今日、皆様の健康こそが町の維持・発展につながるものと考えます。

委員 若宮 佳一

広報常任委員会

委員長 根 隆雄
副委員長 高 山浩司
委員 若 宮 佳一
委員 松 山 泰治
委員 沢 田 良一
委員 柏 田 雅俊
委員 三 浦 俊哉

次回の広報は、平成26年11月発行予定です。

議会を傍聴してみませんか

9月定例会は9月11日開会予定です。
詳しくは議会事務局まで
TEL 62-2111 (代表)
日程が決まりしだい「五戸ちゃんねる」、五戸町ホームページでもお知らせします。